

## 1. 単元名 Lesson 8 「夢の時間割を作ろう」(第 5 学年)

### 2. 単元設定の理由

- 本学級の児童は、5 年生になって初めて外国語活動を行っている。ローマ字で名前を書くことや英語で話しかけられることを喜ぶ児童が少なく、苦手意識の強い児童が多い。これまでに 17 時間外国語活動を行い、そのうち 7 時間は G T を迎えて活動を行ってきた。苦手意識からか一学期は、G T の話を聞くことさえできない状況も見られたが、G T の母国であるアメリカの話の聞かせてもらう経験などを積み重ね、徐々に聞く姿が良くなってきている。しかしまだ、積極的に G T に関わろうとする児童は多くない。  
これまで児童は、Hi, friends 1 の単元構成に沿って外国語活動を行ってきた。Lesson1 “Hello!” では、自己紹介の仕方を知り、友だちや G T と互いに自己紹介をし合った。Lesson2 “I’ m happy.” では、気持ちや状態を伝える様々な表現を用いて、相手の気持ちや状態を知りそれに対してなんらかの反応をするという活動を行った。Lesson3 “How many?” では、リズム良く体を動かしながら数えるなどしながら 1 から 20 までの数に親しんだ。Lesson4 “I like apples.” では、友だちの好き嫌いを予想して、互いにインタビュー活動を行った。英語と日本語の音の違いを楽しむこともできた。Lesson5 から Lesson7 については、まだ学習していない。  
一学期末に「JFA こころのプロジェクト」で、「夢先生」として元プロ野球選手の〇〇さんから「夢」についてのお話を聞かせていただいた。「夢をもつこと」「夢を語ること」の大切さと「それに向けてがんばること」の大切さを実感した児童が多かった。
- 本単元では、「世界の小学校の学校生活に興味をもつ」ことや、「教科名や曜日などの時間割についての表現や尋ね方に慣れ親しむ」ことを目標としている。児童にとって身近な話題である教科や曜日の言い方を取り上げ、G T の母国での話や、Hi, friends にあるオーストラリア・韓国・中国の小学校生活の様子を例に挙げ、日本との共通点や違い、さらには世界の小学校で学習する教科に児童の興味を広げさせる。さらに、高学年となったいま、自分の得意なことや好きなことを中心とした「夢の時間割」や、夢を達成するための「なりたい自分になるための時間割」についてその理由もともに考え、友達同士で情報交換をすることは、互いの理解を深め、よりよい友達関係を築く上でも大切であると考え。
- 指導にあたって第一時では、スリーヒントクイズやキーワードゲームなど児童の必要感・達成感を重視した活動を仕組み、教科や曜日の言い方に慣れ親しませる。第二時では、G T の母国やデジタル教材の中で紹介してあるオーストラリア・韓国・中国で学習している教科について話を聞く場面を設定し、自分たちとの違いや共通点に気付かせ、単元への興味・関心を高める。第三時では、自分のオリジナル時間割を作る中で、「自分の作った時間割を友達に知らせたい」「友達がどんな時間割を作ったのか聞きたい」という意欲も高めていく。第四時では、「夢の時間割の作者当てクイズ」や「なりたい自分になるための時間割紹介」をする中で、英語や日本語、ジェスチャーを使いながら、自分の考えを伝えようとする姿をねらっている。また、それぞれの夢や将来とつなげて日々の学習や生活について見つめ直していく機会としたい。

### 3. 目標

- 各自が作ったオリジナル時間割について積極的に尋ねたり答えたりしようとする。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 教科名や曜日など、時間割についての表現や尋ね方に慣れ親しむ。  
(外国語への慣れ親しみ)
- 世界の小学校の学校生活に興味をもつ。  
(言語や文化に関する気付き)

4. 単元構成・主な活動（全4時間 ○は本時）

時	ねらい	評価の観点			活動 / 評価規準	表現例
		コ	慣	気		
1	教科名や曜日の言い方を知り、それらを扱ったゲームを積極的に楽しむ。		◎		活動名「スリーヒントクイズ」 「キーワードゲーム」  評価規準 G Tや担任が言う教科や曜日の言い方を聞き取り、まねをして話そうとしている。	Japanese, English, P.E Math, Science, Social studies, Music, Arts and Crafts, Home economics What subject is this? It's ~.
2	日本と外国の小学校で学習する教科の違いや共通点を知り、多様なものの考え方があることに気づく。			◎	活動名「外国の小学校では？」  評価規準 日本と外国の時間割の違いや共通点に気づき、発言しようとしている。	Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday What subject is this? It's ~.
③	教科名や曜日の言い方に慣れ、オリジナルの時間割①「夢の時間割」を作る。			◎	活動名「キャンドルゲーム」 「夢の時間割づくり」  評価規準 Do you study ~ on ( )? などの表現に慣れ、使おうとしている。	Do you study ~ on ( )day? Yes, I do. / No, I don't. What subject do you like? I like ~.
4	オリジナル時間割②「なりたい自分になるための時間割」やその理由を考え、自らの時間割を紹介する。			◎	活動名「夢の時間割当てクイズ」 「なりたい自分になるための時間割づくり」 「なりたい自分になるための時間割紹介」  評価規準 友達の「なりたい自分になるための時間割」や理由について予想したり、自分の時間割を堂々と発表したりしようとしている。	Do you study ~ on ( )day? Yes, I do. / No, I don't. I study ~ on ( ). because

## 5. 単元の評価規準

単元目標	1. 各自が作ったオリジナル時間割について積極的に尋ねたり答えたりしようとする。 (コ) 2. 教科名や曜日などの時間割についての表現や尋ね方に慣れ親しむ。 (慣) 3. 世界の小学校の学校生活に興味をもつ。 (気)		
評価規準	○ 教科名や曜日の英語表現を使ってオリジナル時間割を作り、自分の考えを伝えようとしている。 (コ) ○ 教科名や曜日の英語表現の言い方に慣れ、使おうとしている。 (慣) ○ GTの母国やデジタル教材で紹介される国の小学校で学習していることに興味をもって聞き、自分たちの学校生活との違いや共通点に気付いている。 (気)		
観点	評価場面と方法	おおむね満足な姿	※おおむね満足する姿に達していない場合の考えられる支援
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<b>【第4時】</b> オリジナル時間割やその理由について考えたり、発表したりしている場面 (行動観察) (発表観察) (ふり返りカードの点検)	○ 友達のオリジナルの時間割やその理由について予想したり、自分の時間割やその理由・交流の感想について堂々と発表したりしている。 ・「◇◇さんはパン屋さんになりたいから、毎日家庭科と算数を入れていると思うよ。」 ・「体育が毎日の一時間目にあるのは、〇〇くんらしいね。」	・自分から時間割を作ろうとしていない。 ※「その夢を叶えるために、今どんな勉強をしておくといいかな」など問いかけ、いくつか具体例を挙げながら活動を支援する。
外国語への慣れ親しみ	<b>【第1時】</b> 教科名や曜日の言い方を使ったゲームをしている場面 (行動観察) (ふり返りカードの分析)	○ GT (デジタル教材) の話すことの大体を聞き取り、まねをしようとしている。 ○ 教科名や曜日などの英語表現を使おうとしている。 ・教科名や曜日を表す英語表現の大体を発音しながらクイズやゲームをしている。	・みんなが英語で言っている、一緒に言おうとしない。 ※横に寄り添って一緒に言う。友達と一緒に言うように声をかける。
	<b>【第3時】</b> 教科名や曜日の言い方を使ったゲームをしている場面 (行動観察) (ふり返りカードの分析)	○ HRTの話すことの大体を聞き取り、まねをしようとしている。 ○ 教科名や曜日などの英語表現を使おうとしている。 ・Do you study ~ on ( )? や教科名や曜日を表す英語表現の大体を発音しながらクイズやゲームをしている。	・ゲームの説明を聞こうとしない。ゲームに参加しようとしていない。 ※友だちからルールを分かりやすく説明してもらうなど、友だちからの支援により活動参加を促す。
言語や文化に関する気付き	<b>【第2時】</b> GT・デジタル教材の話をしている場面 (行動観察) (ふり返りカードの分析)	○ 日本と外国の時間割には違いや共通点があることに気付いている。 ・「どこの国にも算数はあるんだね。」 ・「日本語を勉強している学校もあるんだね。」	・GTやデジタル教材の話をしていない。 ※他国の教科書や学習の様子など、視覚的資料を提示して、興味関心をもたせる。

## 6. 本時（3／4時）の目標

- 教科名や曜日の言い方に慣れ、オリジナルの時間割①「夢の時間割」を作る。

(外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ)

## 7. 本時の展開

過程	児童の活動	教師の支援（担任・GT）	教材・評価場面
あいさつ (1)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォーム アップ (4)	2 教科名や曜日の言い方について、担任の質問に答える。	○ 担任が尋ねることに答える。	・教科カード ・曜日カード
めあて確認 (2)	3 めあてを確かめる。	Today's aim is this.	
	教科名や曜日の言い方に慣れ、オリジナルの時間割①「夢の時間割」を作ろう。		
コミュニケーション活動 (28)	4 ゲームを通して、教科名や曜日の言い方に慣れ親しむ。 (1) キャンドルゲーム  5 オリジナルの時間割①「夢の時間割」を作る。 (1) さくらとたくの「夢の時間割」を聞き取る。【Activity】 p. 35  (2) 夢の時間割を作る。	○ study の意味について知らせておく。 ○ 難しいところがあれば、班の中で教え合っていることを知らせる。  ☆ 音声資料を聞かせる前に、さくらとたくの絵を想起させ、どの教科が好きか予想させることで相手意識をもたせる。	教科名や曜日の言い方を使ったゲームをしている場面 (行動観察) (ふり返りカードの分析)  ・デジタル教材
ふり返り (9)	6 ふり返りカードに記入し、感想を交流する。		・ふり返りカード
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「( ) 曜日に～の勉強をしますか？」の言い方を使って、ゲームを楽しみましたか。</li> </ul>		
あいさつ (1)	7 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	
		○ 積極的に教科名や曜日の言い方の英語を使おうとする態度など、よかったところをほめる。	

## 8. 本時活動の詳細

### 「キャンドルゲーム」

#### ○ 進め方

- ① 班の形になり、発言する順番を決める。
- ② 教科と曜日を選び、Do you study ~ on ( )day?と尋ねる。
- ③ 指導者は手元にポイントを記入した表を用意しておき、Yes, I do.であれば、そのマスのポイントの数だけ、黒板のキャンドルに赤チョークの火を灯す。No, I don't.であれば、その班のキャンドルの火（赤チョーク）を消す。
- ④ 全員が発言した（5周した）時点で、キャンドルがたくさん灯っている班が優勝となる。

#### ○ 準備

- ・ 黒板に表の枠（縦軸：教科 横軸：曜日） ・ 予めポイントを記入した表（教師の手元）
- ・ 表のまわりに各班のポイントを示すキャンドルとケーキの絵
- ・ 「( ) 曜日に～の勉強をしますか？」の尋ね方 “Do you study ~ on ( )day?” の板書

#### 【板書の例】

めあて

- ① 教科名や曜日の言い方に慣れよう。
- ② オリジナルの時間割①「夢の時間割」を作ろう。

“Do you study ~ on ( )day?”  
「( ) 曜日に、～を勉強しますか？」

♪ キャンドルゲーム ♪

	月	火	水	木	金	土	日
国							
社							
算							
理							
音							
図							
体							
家							
英							

#### 【ポイント表の例】

	月	火	水	木	金	土	日
国	☆	×	1	2	3	4	5
社	×	1	2	3	4	5	☆
算	1	2	3	4	5	☆	×
理	2	3	4	5	☆	×	1
音	3	4	5	☆	×	1	2
図	4	5	☆	×	1	2	3
体	5	☆	×	1	2	3	4
家	☆	×	1	2	3	4	5
英	×	1	2	3	4	5	☆

ポイント表は指導者が手元に持っておく。  
 子どもが発言した教科と曜日のポイントをキャンドルの炎として班のケーキにつけてあげる。(例：社会・土曜日→5ポイント)  
 ある程度規則性をもたせたポイント配列にしておくと子ども達はその規則性を見つけようとして面白さが増す。

# Do you study English on monday? --- Yes, I do. /No, I don't.

あなたは、月曜日に英語を勉強しますか？ --- はい/いいえ

Oct. \_\_\_\_\_, 2012 : Grade 5, Section \_\_\_\_\_, Number \_\_\_\_\_, Name \_\_\_\_\_

① 夢の時間割をつくろう。

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1					
2					
3					
4					
5					
6					

その理由は？

-----

-----

**\* \* \* \* \* ココカラ下ハ、マタ次回使用シマス \* \* \* \* \***

② \_\_\_\_\_ 時間割をつくろう。

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
1					
2					
3					
4					
5					
6					

その理由は？

-----

-----

第1時 月 日 曜日	○ 教科名や曜日の言い方を知って、ゲームを積極的に楽しみましたか。				
	◆教科や曜日の言い方について、書きましょう。				
	----- -----				
第2時 月 日 曜日	○ 日本と外国の小学校生活のちがいや共通点は見つけれましたか。				
	◆ 日本と外国の小学校生活を比べてみた感想を書きましょう。				
	----- -----				
第3時 月 日 曜日	○ 「( ) 曜日に～を勉強しますか？」の言い方を使って、ゲームを楽しみましたか。				
	◆ 「キャンドルゲーム」について、書きましょう。				
	----- -----				
第4時 月 日 曜日	① 「なりたい自分になるための時間割」を堂々と発表しましたか。				
	② 友だちの夢から、「なりたい自分になるための時間割」や理由について考えてみましたか。				
	◆ 「なりたい自分になるための時間割紹介」について、書きましょう。				
----- -----					
単元をふりかえって、学んだことや気付いたことを書きましょう。					
----- ----- -----					

## 10. 資料

### ● 第1時の目標 (1/4時)

- 教科名や曜日の言い方を知り、それらを扱ったゲームを積極的に楽しむ。

(外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ)

### ● 展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・GT)	教材・評価場面
あいさつ (1)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォーム アップ (4)	2 GTや担任が出す3つの ヒントからその教科を当 てる。	○ 具体物やジェスチャーな どによるヒントを与え、苦手 意識をもつ児童も活動への 意欲を高め、次の活動につな ぐ。	・Hi, friends(p.32) ・教科カード
めあて 確認 (2)	3 めあてを確かめる。	Today's aim is this.	
	教科名や曜日の言い方を知って、ゲームを積極的に楽し もう。		
コミュニ ケーション 活動 (28)	4 ゲームを通して、教科名や 曜日の言い方に慣れ親しむ。 (1) 3ヒントクイズに答え る。【Let's PLAY①】 p. 32  (2) キーワードゲームをす る。【Let's PLAY②】 p. 33 (3) 「今日の予定」を聞き取 る。【Let's Listen①】 p. 33	☆ <b>デジタル教材音声資料 は必要に応じて一時停止し ながら聞かせる。</b> ☆ <b>GTには、必要に応じてジ ェスチャーを交えながらそ の単語を発音してもらおう。</b> ○ 全員が楽しめるように進 め方を分かりやすく説明す る。 ☆ <b>ゲームの中で自然に集中 して聞き、発音できるようテ ンポよく進めてもらう。</b>	・デジタル教材  教科名や曜日の 言い方を使ったゲ ームをしている場 面 (行動観察) (ふり返りカードの分 析)
ふり返り (9)	5 ふり返りカードに記入し、 感想を交流する。		・ふり返りカード
	・教科名や曜日の言い方を知って、ゲームを積極的に楽しみましたか。		
		○ 積極的に教科名や曜日の 英語を使おうとする態度など よかったところをほめる。	
あいさつ (1)	6 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	

## ● 第1時活動の詳細

### 「スリーヒントクイズ」

#### ○ 進め方

- ① 二人の間に一冊 Hi, friends (p. 32)を開く。
- ② G Tや担任の出す3つのヒントからその教科を当てる。(指差す。)
- ③ デジタル教材 (p. 32) Let' s PLAY 1を聞いて当てる。(指差す。)

#### ○ 準備

- ・ 教科カード
- ・ 電子黒板
- ・ 様々な教科を示す3つのヒント

※ ③デジタル教材のヒントはすべて音声によるものなので、②G Tや担任が出題する際は、音声に加え、具体物やジェスチャーなどによるヒントを与え、苦手意識をもつ児童も活動への意欲を高め、次の活動につなげられるようにする。

### 「キーワードゲーム」

#### ○ 進め方

- ① 二人の間に一冊 Hi, friends (p. 32)を開く。G Tや担任が指定するキーワードに消しゴムを置く。
- ② G Tや担任が言う教科の単語を全員で繰り返す。ただし、指導者がキーワードを言ったときは、繰り返さず消しゴムを取る。取った人が1ポイントもらう。
- ③ 3回行った時点でポイントの多い方を勝ちとし、勝った児童が席を移動し、繰り返す。

#### ○ 準備

- ・ 教科カード

● 第2時の目標 (2/4時)

○ 日本と外国の小学校生活の違いや共通点を知り、多様なものの考え方があることに気づく。

(言語や文化に対する体験的な理解)

● 展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・GT)	教材・評価場面
あいさつ (1)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォーム アップ (4)	2 教科名や曜日の言い方について、GTの質問に答える。	○ GTが尋ねることに答える。 ☆ カードを使って、楽しくテンポよく曜日や教科の言い方を思い出させる。	・教科カード ・曜日カード
めあて確認 (2)	3 めあてを確かめる。 日本と外国の小学校生活の違いや共通点を見つけよう。		
コミュニケーション活動 (28)	4 GTの母国やオーストラリア・韓国・中国の学校生活の様子を知る。 (1) 予想をする。 (2) GTの話と音声資料を聞く。 【Let's LISTEN②】 p. 34 (3) 映像資料を見る。 【Let's LISTEN②】 p. 34	○ student, eat, cleanなどの言葉について知らせておく。 ☆ GTには学習する曜日・教科・昼食・そうじの4つのポイントで話してもらおう。 ○ GTの話や音声資料を聞き、積極的に違いや共通点をメモできるようポイントを示す。 ※ デジタル教材音声資料は必要に応じて一時停止しながら聞かせる。	・デジタル教材 GT・デジタル教材の話をしている場面 (行動観察) (ふり返しカードの分析)
ふり返し (9)	5 ふり返しカードに記入し、感想を交流する。	・ふり返しカード ・日本と外国の小学校生活のちがいや共通点は見つけれられましたか。	
		○ 比べて気づいたことや疑問に思うことを書くなどよかったところをほめる。	
あいさつ (1)	6 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	

● 第2時活動の詳細

「外国の小学校では？」

○ 進め方

- ① G Tの母国やオーストラリア・韓国・中国の学校生活の様子を予想する。
- ② G Tの話とデジタル教材（音声資料）を聞く。
- ③ 聞き取れたことを交流・確認し、台本を見ながら再度、音声資料を聞く。
- ④ デジタル教材（映像資料）を見る。
- ⑤ 各国の小学校生活の様子について以下のように表にしてまとめていく。

どこの国か	教科①	教科②	昼食	その他
オーストラリア				
韓国				
中国				
アメリカ				

○ 準備

- ・ 教科カード          ・ 曜日カード          ・ 電子黒板          ・ 表
- ・ G Tに学校生活紹介のポイント（学習する曜日，教科，昼食，掃除）を知らせ，準備しておいてもらう。

● 第4時の目標 (4/4時)

- オリジナル時間割②作りや時間割当てクイズを通して、「なりたい自分になるための時間割」や理由からその作者について積極的に考えたり発言したりしようとする。

(積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度)

● 展開

過程	児童の活動	教師の支援 (担任・GT)	教材・評価場面
あいさつ (1)	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォームアップ (4)	2 前時作った「夢の時間割」を発表する。その作者を考える。	○ 子どもが作った「夢の時間割」の中から5個程度選んでおく。作者名をふせ、希望者に発表させる。	・前時に作った「夢の時間割」
めあて確認 (2)	3 めあてを確かめる。	Today's aim is this.	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>「なりたい自分になるための時間割」を作って、その時間割や理由から作者について考えみよう。</p> </div>			
コミュニケーション活動 (28)	4 オリジナルの時間割②「なりたい自分になるための時間割」を題材にして、聞いたり、話したりする。 (1) 「なりたい自分になるための時間割」を作る。理由も合わせて書く。 (2) 発表する人の時間割やその理由を予想する。 (3) 班の中で順番に発表する。	○ 「夢の時間割」とのちがいをおさえる。  ○ 自己選択や自己決定をさせることで、それを伝えたい、他の人の考えを聞きたいという必要感を持たせる。それを選んだ理由も明確にして交流させる。	・「なりたい自分になるための時間割」  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>オリジナル時間割やその理由について考えたり、発表したりしている場面 (行動観察) (発表観察) (ふり返りカードの点検)</p> </div>
ふり返り (9)	5 ふり返りカードに記入し、感想を交流する。		・ふり返りカード
<p>① 「なりたい自分になるための時間割」を堂々と発表しましたか。 ② 友だちの夢から、「なりたい自分になるための時間割」や理由について考えてみましたか。</p>		○ 感想も伝え合うなど積極的に交流していた姿をほめる。	
あいさつ (1)	6 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	

● 第4時活動の詳細

「なりたい自分になるための時間割紹介」

○ 進め方

- ① 班のみんなの「なりたい自分になるための時間割」とその理由を予想する。
- ② 自分の「なりたい自分になるための時間割」を紹介する。
- ③ 交流した感想を書き，発表する。

○ 準備

- ・ 「なりたい自分になるための時間割」表
- ・ 班のみんなの予想シート
- ・ 交流した感想シート

# Lesson 8 I study Japanese.

## 「夢の時間割」を作ろう

Oct \_\_\_\_\_, 2012 : Grade 5, Section \_\_\_\_\_, Number \_\_\_\_\_, Name \_\_\_\_\_

② 「夢の時間割」の作者を予想しよう。

A: \_\_\_\_\_ B: \_\_\_\_\_ C: \_\_\_\_\_ D: \_\_\_\_\_ E: \_\_\_\_\_

② 班の友だちの「なりたい自分になるための時間割」とその理由を予想しよう。

( ) さんがたくさん入れていそうな教科 : \_\_\_\_\_  
その理由 : \_\_\_\_\_

③ 班の友だちの「なりたい自分になるための時間割」とその理由を聞こう。

( )

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2					
3					
4					
5					
6					

理由 :

( )

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2					
3					
4					
5					
6					

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2					
3					
4					
5					
6					

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1					
2					
3					
4					
5					
6					

## 6. 本時（3／4時）の目標

- 教科名や曜日の言い方に慣れ、オリジナルの時間割①「夢の時間割」を作る。

(外国語の音声や基本的な表現への慣れ親しみ)

## 7. 本時の展開

過程	児童の活動	教師の支援（担任・GT）	教材・評価場面
あいさつ（1）	1 あいさつをする。	Hello, everyone. How are you?	
ウォームアップ（4）	2 教科名や曜日の言い方について、担任の質問に答える。	○ 担任が尋ねることに答える。	・教科カード ・曜日カード
めあて確認（2）	3 めあてを確かめる。	Today's aim is this.	
	教科名や曜日の言い方に慣れ、オリジナルの時間割①「夢の時間割」を作ろう。		
コミュニケーション活動（28）	4 ゲームを通して、教科名や曜日の言い方に慣れ親しむ。 (1) キャンドルゲーム  (2) 「同じ時間割を探せ」ゲーム  (3) オリジナルの時間割①「夢の時間割」を作る。	○ study の意味について知らせておく。 ○ 難しいところがあれば、班の中で教え合っていることを知らせる。 ○ 教科・曜日・尋ね方などが難しい児童にはお助けカードを渡す。 ○ 好きな教科を尋ねる。 What subject do you like?	教科名や曜日の言い方を使ったゲームをしている場面 (行動観察) (ふり返りカードの分析)
ふり返り（9）	6 ふり返りカードに記入し、感想を交流する。		・ふり返りカード
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「( ) 曜日に～の勉強をしますか？」の言い方を使って、ゲームを楽しみましたか。</li> </ul>		
あいさつ（1）	7 あいさつをする。 Thank you.	That's all for today.	
		○ 積極的に教科名や曜日の言い方の英語を使おうとする態度など、よかったところをほめる。	

## 8. 本時活動の詳細

「同じ時間割を探せ」ゲーム

### ○ 進め方

- ① 自分の時間割を確かめる。
- ② Do you study ~ on ( )day?と尋ねてまわり、自分と同じ時間割をもつ人を見つける。
- ③ 同じ時間割をもつ人は5人(自分の他にあと4人)いるので、全員見付きり確認し合えたらクリア。※パターンEのみ6人組

### ○ 準備

- ・ ゲーム用時間割6パターン
- ・ 「( )曜日に~の勉強をしますか?」の尋ね方“Do you study ~ on ( )day?”の板書

【時間割パターンの例】

### 秘密の時間割表 (誰ニモ見セテハ、イケマセン・・・)

	月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday
1	国語	理科	家庭科	図工	英語
2	国語	理科	家庭科	図工	英語
3	国語	社会	家庭科	図工	英語
4	算数	社会	体育	音楽	書写
5	算数	社会	体育	音楽	書写
6	算数		体育	音楽	書写

自分と同じ時間割表を持っている人がだれか、

近くの人に“Do you study ~ on ----day?”とたずねてみよう。

五カ所同じだったらかなり高い確率で、同じ時間割表でしょうね。

**あなたと同じ時間割をもつ人は、全部で5人(あなた以外にあと4人)**